

日本や各国を代表する青年が、共に国際的課題についてのディスカッション等の活動を行うことを通じ、諸外国における我が国への理解・関心を増進するとともに、国際協調の精神と実践力を向上させ、国際社会・地域社会で活躍する次世代グローバルリーダーを育成する。

- ・また、日本青年と外国青年が相互理解と友好を深め、生涯にわたる絆を構築。
- ・参加各国の青年からは、政治指導者を始め各界のリーダーを数多く輩出。
(ニュージーランド元首相 ヘレン・クラーク氏(現UNDP総裁)、各国の閣僚・国会議員、大学教授、国際機関幹部、民間企業幹部 等)
- ・今上陛下の御成婚記念として開始以来、皇室の関わる事業として実施。友好の象徴として諸外国から高い評価。

東南アジア青年の船

経緯

- ・日本・東南アジア諸国共同声明(1974年)
- ・日・ASEAN首脳会議(2003年)で事業の支援を採択
- ・首脳の共同声明等で言及

次世代グローバルリーダー事業
「世界青年の船」

- ・国際社会、地域社会等の両方の場において活躍しうる人材(グローバル・リーダー)の育成を目的
- ・2012年度までの「世界青年の船」、2013年度「グローバルリーダー育成事業」等を経て発展的に改組して2015年度より実施

国際青年育成交流

- ・今上陛下御成婚(1959年)を記念して開始、皇太子殿下の御成婚(1993年)を記念して再編

日中・日韓青年親善交流

- ・日中平和友好条約締結(1978年)を契機に開始(1979年)(中華全国青年連合会と共同)
- ・日韓共同声明(1984年)、国交正常化20周年(1985年)を契機に開始(1987年)

地域課題対応人材育成事業
「地域コアリーダープログラム」

- ・地域の共生社会の実現に向けた課題に携わる青年に実務的な能力・スキルを身に付ける機会を提供することを目的として2016年度開始。
- ・2002年度に開始された青年社会活動コアリーダー育成プログラムを発展的に改組

皇室御接見・行啓、内閣総理大臣表敬を毎年実施

- ・総理表敬
- ・秋篠宮同妃両殿下御引見
- ・秋篠宮同妃両殿下お成り
- ・秋篠宮同妃両殿下御接見

- ・皇太子殿下御接見
- ・総理表敬

皇太子同妃両殿下行啓

外国青年との濃密なディスカッション、課題別視察、表敬訪問、自国文化紹介、ホームステイなどを実施。

概要

- (参加青年)
- ・日本青年等 40人
- ・ASEAN10か国の青年等 290人

(訪問国)
ASEAN10か国のうち5か国

(時期・期間)
約40日間の航海を含めた約50日間(10月下旬から)

- (参加青年)
- ・日本青年等 120人
- ・10ヶ国の青年等 120人

(時期・期間) 1月下旬～3月上旬
陸上研修 約7日間
船上研修 約34日間
(寄港地活動含む)

- (参加青年)
- 日本青年等 48人
- 参加各国の青年等 51人

(訪問国) 3か国
(時期・期間)
・派遣: 18日間(9月)
・招へい: 16日間(9,10月)
日本青年帰国後、外国青年招へい中に、国際青年交流会議を開催

- (参加青年)
- ・日中の青年等各30人(調整中)
- ・日韓の青年等各30人

(訪問国) 中国
韓国
(時期・期間)
・中国 派遣: 12日間(未定)
招へい: 12日間(未定)
・韓国 派遣: 15日間(9月)
招へい: 15日間(7,8月)

- ・高齢者、障害者、青少年の3分野に関する活動に従事する
日本青年等27人
外国青年等39人

(訪問国) 3か国
(時期・期間)
・派遣: 10日間(10月)
・招へい: 15日間(2月)

青年国際交流は、「子供・若者育成支援推進大綱」(平成28年2月9日子ども・若者育成支援推進本部決定)においても、施策の一つとして位置付け。事業期間に加え、選考(都道府県選考後、国が直接選考)、事前研修(3日～7日の合宿型)、直前研修(合宿)、事後研修(合宿)、報告会等を実施。